YAMAZEN
News Release

株式会社 山善
〒550-8660 大阪市西区立売堀2丁目3番16号
（証券コード：8051）
https://www.yamazen.co.jp/

2026 年 11 月 27 日

中学生のアイデアから避難生活の“清潔”に着目し新登場！
水を使わない衛生ケアや少ない水で洗濯できる洗剤等が入った
「衣類が 4 日分収納できる防災バッグ」
2026 年 12 月下旬より順次発売

株式会社山善（本社：大阪市西区、代表取締役社長：岸田貢司）は、神戸市にある中学校の生徒による防災アイデアを商品開発に取り入れた「衣類が 4 日分収納できる防災バッグ」を開発しました。2026 年 12 月下旬より、当社 EC サイト「山善ビズコム」および EC モール「くらしの e ショップ」、全国のホームセンターなどで順次発売します。

本商品は、災害時や断水時にも「清潔に過ごせる」ことをコンセプトに開発した防災バッグです。衣類を約 4 日分※1 収納できる圧縮バッグに加え、水を使わずに頭や体、口腔内をケアできる衛生用品、そして少量の水で洗濯ができる防災洗剤と折りたたみバケツなどをセットにしました。また、靴を収納できるスペースを設け、突然の災害時にも速やかに避難できるよう配慮しています。



■神戸市の中学生との防災授業をきっかけに、避難生活の「清潔」に着目

山善は 2016 年から「防災バッグ 30」を販売しています。同商品は、災害時の一次避難※2 に必要な防災用品 30 点をセットにしたものです。リュック内にあえて“余白”を設け、必要なものを追加することで、自分に合った防災バッグを完成させる提案をしています。

兵庫県神戸市の松蔭中学校では、2021 年から同商品を教材とした防災授業を実施し、授業には防災士の資格を持つ山善の商品開発担当者も参加しています。「『防災バッグ 30』にもう一つ加えるなら何か」をテーマに、生徒たちは災害時に必要なアイテムを考え、発表やディスカッションを通じて防災への理解を深めています。授業では、避難所での「入浴や洗濯の制限」に対応するアイテムを挙げる生徒が多いほか、過去の大規模災害では、口腔ケアの不足による健康への影響も指摘されています。山善はこうした災害時の衛生面の課題に着目し、生徒たちのアイデアをもとに、衣類の収納や衛生管理アイテムなどを加えた“清潔”をコンセプトとした新防災バッグを開発しました。

＜新商品特長＞

１． 防災士監修の二次避難※2 に役立つ防災用品 20 点をセット

防災士の資格を持つ商品開発担当が選定した、二次避難※2 に役立つ防災用品をセットにしました。リュック本体の容量は従来品の 18L から 20L に拡大しています。アイテム数を 20 点に絞ったことで収納スペースに余裕が生まれ、各自が必要なものを追加して、自分に合った防災バッグを作ることができます。

２． 4 日分の衣類を収納できる圧縮バッグ

2026 年の授業で生徒が提案した「ロングスカート」のアイデアを参考に、着替えや防寒対策に必要な衣類を持ち出せる圧縮バッグを採用しました。16L サイズで、春・秋用の衣類なら約 4 日分※1 を収納でき、季節に合わせて防寒着などを備えることも可能です。圧縮バッグは撥水加工が施され、リュック本体に外付けできます。リュック本体(20L)と合わせると、合計 36L の収納が可能です。



圧縮バッグ



圧縮バッグの外付けイメージ

３． 避難先でも清潔に。水なしで使える衛生用品と、少量の水で洗濯できるアイテム

「ドライシャンプー」(2022 年の授業より）や「折りたたみバケツ」(2023 年の授業より）のアイデアを参考に、避難生活で清潔を保つアイテムを採用しました。「さわやかケアセット」は、水を使わずに頭や体、口腔内のケアができ、1 人で 12 日間使用できる分量です。また、折りたたみバケツと、すすぎ 1 回で洗える災害時備蓄用洗剤をセットにし、限られた水でも衣類を洗濯できるようにしました。



さわやかケアセット



災害時備蓄用洗剤、
折りたたみバケツ

４． 靴を収納できる専用スペースで、避難時の足元にも配慮

「レインシューズカバー」(2024 年の授業より)のアイデアを参考に、災害時に足を守る「靴」の重要性に着目しました。リュック本体に靴を収納できるスペースを設けています。あらかじめ靴を入れておくことで、靴を探す手間が省け、素早く避難できます。さらに、避難所での靴の取り違えや盗難防止にも役立ちます。



リュック本体

※1：春・秋の衣類で自社計測。個人差があります。
※2：一次避難とは、災害時に危険から逃れ、命と身の安全を確保するための避難です。二次避難とは、安全確保後、避難所などで生活を送りながら心身の健康を維持するための避難を指します。

＜特集ページ＞

「衣類が 4 日分収納できる防災バッグ」が生まれるまでの物語をお届けしています。詳細は URL をご覧ください。https://book.yamazen.co.jp/special/detail/77

＜商品概要＞

商品名／品番	衣類が 4 日分収納できる防災バッグ／YBS-20
外形寸法(約)	幅 27×奥行 19×高さ 46cm
セット内容	リュック、圧縮バッグ、さわやかケアセット（歯みがきティシュ、さっとさわやかからだふき、シャンプーナップ)、すすぎ 1 回で洗える災害時備蓄用洗剤、携帯トイレ×3、マスク×3、ポケットティッシュ、紙皿×3、給水バッグ 5L、歯ブラシ×3、プラカップ×5、スプーンフォークセット、ポリ袋 45L×3、アルミブランケット、EVA サンダル、レインポンチョ、折りたたみバケツ 2.5L、懐中電灯ランタン
参考価格(税込)	10,980 円
商品ページ	https://book.yamazen.co.jp/product/detail/I00009456

■既存商品「防災バッグ 30」について



防災士の資格を持つ商品開発担当者が作成した、災害時に必要なものをまとめた防災グッズ 30 点セットです。一次避難に特化しており、防災の備えを始める方への入門編となる商品です。

■山善と松蔭中学校の防災教育の取り組み



山善は 2021 年から、兵庫県神戸市の松蔭中学校での防災授業に協力しています。授業では「『防災バッグ 30』にもう一つ加えるなら何か」をテーマに、生徒たちが災害時に必要なアイテムを自ら考え、防災への理解を深めています。防災士の資格を持つ商品開発担当が授業に参加し、商品開発や防災の観点からアドバイスを行うなど、交流を深めてきました。

2025 年実施時の様子（山善 BASE CAMP）：https://www.yamazen.co.jp/ybc/contents/entry-2252.html

＜松蔭中学校 篠原弘樹先生 コメント＞



「『防災バッグ 30』にもう一つ加えるなら何か」の取り組みを始めたのが 2021 年。最初、こんなお願いを山善さんにしてもよいのだろうかと、不安に思いながらメールをお送りしたことを今でも覚えています。それから約 6 年、生徒たちのアイデアを参考に商品化していただけることになるとは、想像もしていませんでした。今回の経験を通して、生徒たちには、自分たちの小さな気づきや行動が、社会を動かす第一歩にもなり得ることを実感してほしいと思います。

＜生徒 コメント（2026 年 11 月現在 高校 3 年生）＞

中学 1 年生の頃に考えたアイデアが、実際に販売される防災バッグに取り入れられると聞き、とても嬉しく思います。神戸で震災について学び続けてきたので、当時の小さな提案が誰かの役に立つかもしれないと思うと、今回の取り組みに参加できて本当によかったと感じています。これからも防災について考え続けたいです。

今後も、パーパス「ともに、未来を切拓く」のもと、世界のものづくりと豊かなくらしをリードしてまいります。

※ニュースリリースの内容は発表時のものです。閲覧いただいている時点では内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。